平成１８年１２月８日

各　　位

会 社 名　　日 東 製 網 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　小林嗣宜
（コード番号　３５２４　東証第１部）
問合せ先　取締役総務部長　三島浩明
（ＴＥＬ．０８４－９５３－１２３４）

特別損失発生に関するお知らせ

当社の売上債権の貸倒引当基準をより厳格に見直した結果、貸倒引当金繰入額が発生し、加えてたな卸資産の評価損が発生したため、当中間連結会計期間におきまして特別損失として計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

１．貸倒引当金繰入額・たな卸評価損失の発生について

当中間連結会計期間におきましては、前年に引続き、原油価格が高値圏で推移し漁業関連事業者の収益を圧迫している状況が続き、当社の主要営業基盤である漁業関連事業者に大きな影響がでております

このような厳しい業界環境に加えて、会計基準の国際化が進んでいる現状に鑑み、貸倒引当金をより厳格に計上いたしました。回収不能とは判断されない先であっても今後回収の長期化が懸念される先に対して、前倒しに貸倒引当金を計上した結果、当中間期におきまして９５１百万円を貸倒引当金繰入額として計上することといたしました。

また、当社の製品在庫につきましても、主力製品の定置網等は、製品の経済耐用年数が１０年から１５年と非常に長いことおよび製品に流行がないことより、実質の使用可能期間を反映させて、たな卸資産の評価を行っておりました。しかし、当中間期より前倒しかつ毎年段階的に評価を厳しく査定する方法に改めた結果、たな卸資産評価損として７８百万円を計上することといたしました。

２．貸倒引当金繰入額およびたな卸資産評価損失の内容

貸倒引当金繰入額	９５１百万円　（但し、連結では債権債務の一部が相殺されるため、８５４百万円となっております。）
当社の保有する債権	受取手形、売掛金
たな卸資産評価損失	７８百万円
たな卸資産の評価損対象	当社製品在庫

３．損益に与える影響

当該貸倒引当金繰入額の特別損失計上により、平成１８年６月２３日付で公表いたしました平成１９年４月期の単体および連結の通期業績予想に変更が生じます。修正内容につきましては、本日の平成１９年４月期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせで開示いたします。

以上